

令和6年度観音寺護持会会計報告

収入の部		
項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	1, 427, 547	前年度からの繰越金
助成金	25, 000	日秀区よりの助成金
会費	701, 700	檀信徒からの護持会費
普門品講より繰入れ	395, 035	
雑収入	1, 015	利息
計	2, 550, 297	

支出の部		
項 目	金 額	備 考
宗費賦課金	417, 892	宗務庁、宗務所への賦課金、護持会費等
火災保険掛金	340, 042	本堂火災保険
計	757, 934	

収入済額計	2, 550, 297	護持会・宗務費について
支出済額計	757, 934	護持会宗務費でいただいた費用は、曹洞宗宗門および観音寺の護持と宗風の宣揚に資するものです。「寺院の建築物、施設の営繕」「寺院賦課金の支弁」「法要・行事の資金の支弁」「寺族の福祉保護・子弟の育英」「檀信徒研修会への参加補助」など、住職の宗教活動を側面から強力にバックアップするものです。現在のもとより、未来の子々孫々に至るまで檀信徒各家のご先祖と観音寺を守るため、ご協力いただいております。
収支差引額	1, 792, 363	⇒ 差引額は次年度へ繰越

【後記】

● 昨年^のの寺報でお知らせいたしました^が、本年度より「護持会費」を500円値上げさせていただきました。値上げ理由は繰り返しになりますが、純粋な収入である檀信徒の皆様からの護持会費と日秀区の助成金の収入合計よりも、宗務庁からの宗費賦課金と本堂火災保険を合わせた合計支出額の方が増加傾向にあり、伽藍や境内の整備、慶弔があった場合の支出が困難になることが見込まれることによるものです。

大変心苦しいのですが、30年ほど据え置きしておりました護持会費を値上させていただきました。ご理解ご了承のほどお願いを申し上げます。

● 節分祭と夏祭り、どちらも普門品講の皆様のおかげで長く続けられて参りました。以前、布佐に住む知人から「豆撒きに行ってもいいの？」と聞かれ「会員制じゃないから大丈夫」と言って笑ったことを思い出しました。

改めて普門品講の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

観音寺報

施食会号・令和7年8月17日発行
我孫子市日秀90 慈愍山観音寺
住職 安本正道
TEL 04-7188-2244
ホームページ <http://jiminzan.com/>

普門品講が解散されました

「節分祭」や「盆踊り」などの催し物で大いに盛り上げていただいた「普門品講」が解散されることになりました。

「普門品講」(ふもんぼんこう)とはどのような組織かといいますと、元々は檀信徒の皆さんが観音堂にお籠りして「観音経」(妙法蓮華経第二十五観世音菩薩普門品)いわゆる法華経をお唱えし、その功德を願う集まりでした。

観音堂の前(国道側)に明治19年の石碑があります。表面には「五萬巻供養塔」裏面に地元の屋号が刻まれてあります。文字通り5万返お唱えしたぞという記録です。観音様を深く信仰し、まさにその功德を願う強い心の表れといえましょう。

このように皆でお経をお唱えする集まりでしたが、次第に檀信徒の皆さんや近隣の方々に楽しんでいただくための催しを進行してくださる組織へと変わってきました。

節分祭の豆撒きでは、福豆やお餅お菓子などを撒いて「無病息災」を願いました。また寒さをしのぐ甘酒や豚汁を振舞っていただいたこともありました。8月17日の夏祭りは盆踊りの他にカラオケ大会、ビール早飲み競争、ビンゴゲームなどで大いに盛り上がりました。露店も出て狭い境内は大勢の人で埋め尽くされました。節分祭も夏祭りも日秀区だけでなく、他地区からも大勢の皆さんにお出でいただきました。

しかしコロナ禍以降、多くの人が集まる催しは休止せざるを得ない状況が続き、また若年層講員の不足、講員の平均年齢の上昇等によって、今までどおりの活動を続けていくことが困難になってきました。



「うなきちさん」も登場し盛り上がった節分祭

普門品講会長、講員皆様より解散総意の申し入れがあり住職としても残念ではありますが了承いたしました。

つきましては講会計残金(395,035円)を護持会会計に繰入させていただきました事をご報告いたします。歴代講員の皆様今まで大変お疲れ様でした。そして誠にありがとうございました。

観音寺アーカイブス 奉納額（海軍戦艦絵）



現在は外してありますが、かつて本堂内に掛けてあった額装の油絵があります。

黒煙を吐き波しぶきをあげて航行する戦艦が描かれ「海軍満期祈念」と記されています。曲がった煙突と舳先の形状から戦艦「長門」（ながと）または「陸奥」（むつ）と思われます。

こうした戦艦等の絵画を神社仏閣に奉納することは各地で行われていて、英霊や船霊等の慰霊のために納められたようです。また軍隊の兵役を終え満期（2～3年）除隊を記念する行事や軍盃など配ったりすることが行われていたようです。皆様の家にもあるかもしれません。

さらに神社仏閣への奉納物の例としては「砲弾」や戦没者の写真等があります。一昨年、愛媛県「檜本神社」「特攻記念館」を訪れた際に境内には戦艦大和の砲弾をはじめ、特攻機に装填された250キロ爆弾を模した石柱などがありました。

かつて当寺観音堂の軒先に女性の黒髪が下がっていました。子どもの頃の記憶で、なまめかしく怖かったのですが、あれは出征する夫や子の無事を祈り切り取って奉納したものだったのでしょう。

戦後80年の今、こうした戦争にまつわる奉納品を目の当たりにすると、あらためて戦争は繰り返してはならないと感じます。

縁起書の修復を行いました

観音寺に唯一残る資料「下総國相馬郡日出村観世音菩薩縁記(起)」寺にはなぜか「コピー」のみがありましたが、近年原本が見つかりました。しかし虫食いによる損傷が著しくページをめくるとポロポロ剥がれ落ちるほどでした。そこで市教育委員会に専門業者を紹介していただき最新技術により見事に修復されました。内容は寺のホームページに掲載してありますので是非ご覧ください。次は十王図（地獄絵図）の修復を行いたいと考えております。



修復後の縁起書（部分）

朝ドラにみる珠玉の言葉とお釈迦様の言葉

皆さんはNHKの連続ドラマ（朝ドラ）をご覧になつていますか？私は市役所を退職後の楽しみの一つとなつていて毎日見えています。

そのドラマを見ていて時々ハッとするセリフに出会う事があります。そしてそれら珠玉の言葉は時に仏教的であつたりもします。法話の種になったり自分だったらどう言葉を発するだろうと考える時もあったりします。



「どこで何をして生きようと、お前が鍛錬し、培い、身につけたものはお前の物。決して奪われることはない。一生の宝とせよ」『カムカムエブリバディ』で文四郎に伴虚無蔵がかけた言葉。

「人は全てを持つことらあできん。何かを選ぶことは何かを捨てることじゃ。」『らんまん』で万太郎に対して祖母タキが諭した言葉。

「生きてりゃ、道が離れることもあれば、また交わることもあるさ」『虎に翼』で寅子とよねに溝が出来たとき、轟が発した言葉。

「いまは平行線に思えても、いつか、ふたりの道が交わる日がくるかもしれん」『あんぱん』でのぶが駅で偶然遭遇した寛にかけられた言葉。

あげたらきりがありますが、なかでも見ていてドキッとした言葉がありました。『虎に翼』で女学生が寅子に「なぜ人を殺してはいけないの？」と問うシーン。法律を学ぶ寅子でしたが「・・・」と言葉に窮し固まってしまいます。

ドラマの終盤になって「奪われた命は元に戻せない。死んだ相手とは言葉を交わすことも永久にできない。だから人は生きることに尊さを感じて人を殺してはいけないと本能で理解している。それが長いあいだ考えてきた私なりの答え。理由が分からないからやっていいじゃなくて、分からないからこそやらない。奪う側にならない努力をすべきと思う。」と諭します。

人の命を奪うことについて、お釈迦さまはこう示されています。「すべての者は暴力に怯え、すべての者は死を恐れる。己が身に引き比べて殺してはならぬ、殺されてはならぬ。」これは『法句経』という經典に書かれてあります。単なる禁止事項ではなく、慈悲の心と相手の苦しみを理解して自分の命も他者の命も大切に思い尊重して生きていくことが大事であると。

